

アンケート結果 抜粋

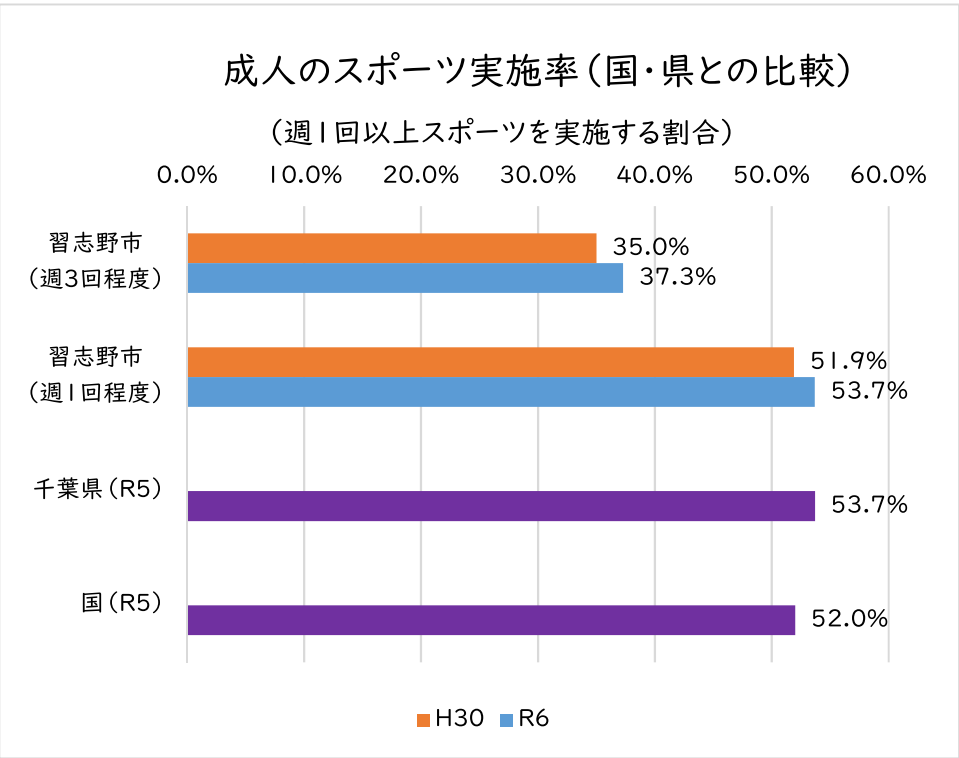
1. 「する」スポーツについて

日常生活の中で定期的に体を動かしている人は、5 割。

質問 33-2 現在、スポーツや運動をどの位の頻度でしていますか。
(日常生活の中で定期的に体を動かすことも含みます。)

本市のスポーツ・運動の実施頻度について、週 1 回以上(「ほぼ毎日」、「週3回程度」、「週1回程度」の3区分の合計)と回答した人は、全体の 53.7%と前回から微増となっています。また、週3回以上と答えた人は、37.3%と前回から増加しています。

国(※1)や千葉県(※2)の調査と比較すると、スポーツを行っている人の割合は、国に対しては上回っていて、県とは同等となっています。



※1 「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(令和5年11月実施 スポーツ庁)

※2 「県民の運動・スポーツに関するアンケート調査」

(令和5年9月実施 千葉県環境生活部 スポーツ・文化局 生涯スポーツ振興課)

2. 「みる」スポーツについて

スポーツ観戦をする人は、約 8 割。

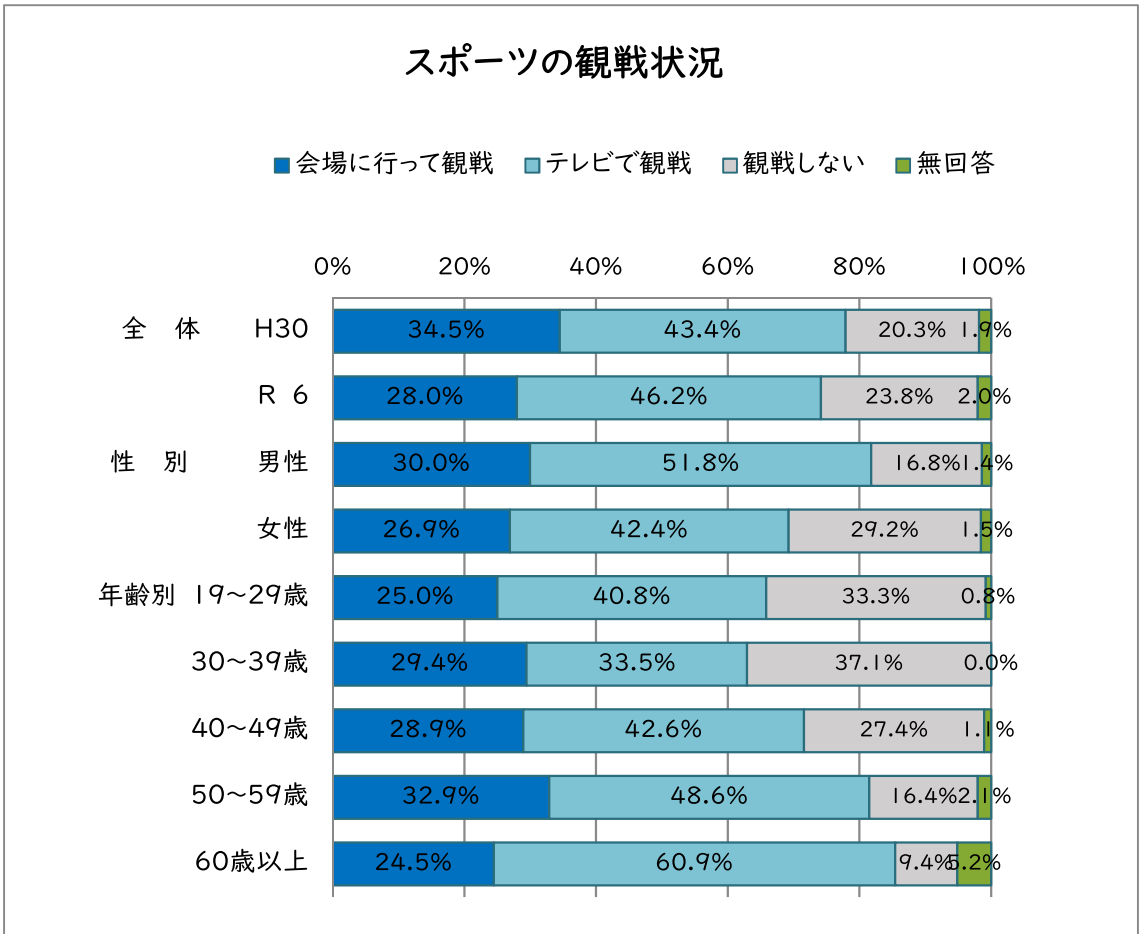
質問 36 あなたは、スポーツ観戦をしますか。どこの会場でみますか。(複数回答可)

質問 38 スポーツに関する情報について、何を使って得ていますか。(複数回答可)

スポーツ観戦の状況は、「会場に行って観戦する」は減少し、「テレビで観戦する」が増加しました。「テレビなどでも観戦しない」は増加という結果でした。

また、「会場に行って観戦する」を性別、年齢別にみると、性別では男性が多く、年齢別では50～59歳が高いという結果でした。

その一方で、「テレビなどでも観戦しない」では、30～39歳が他の年齢に比べて高いことが伺えます。



3. 「支える」スポーツ」について

スポーツに関するボランティア活動に参加したことが「ある」人は、減少。

「参加したい」と思う人は、大きく減少。

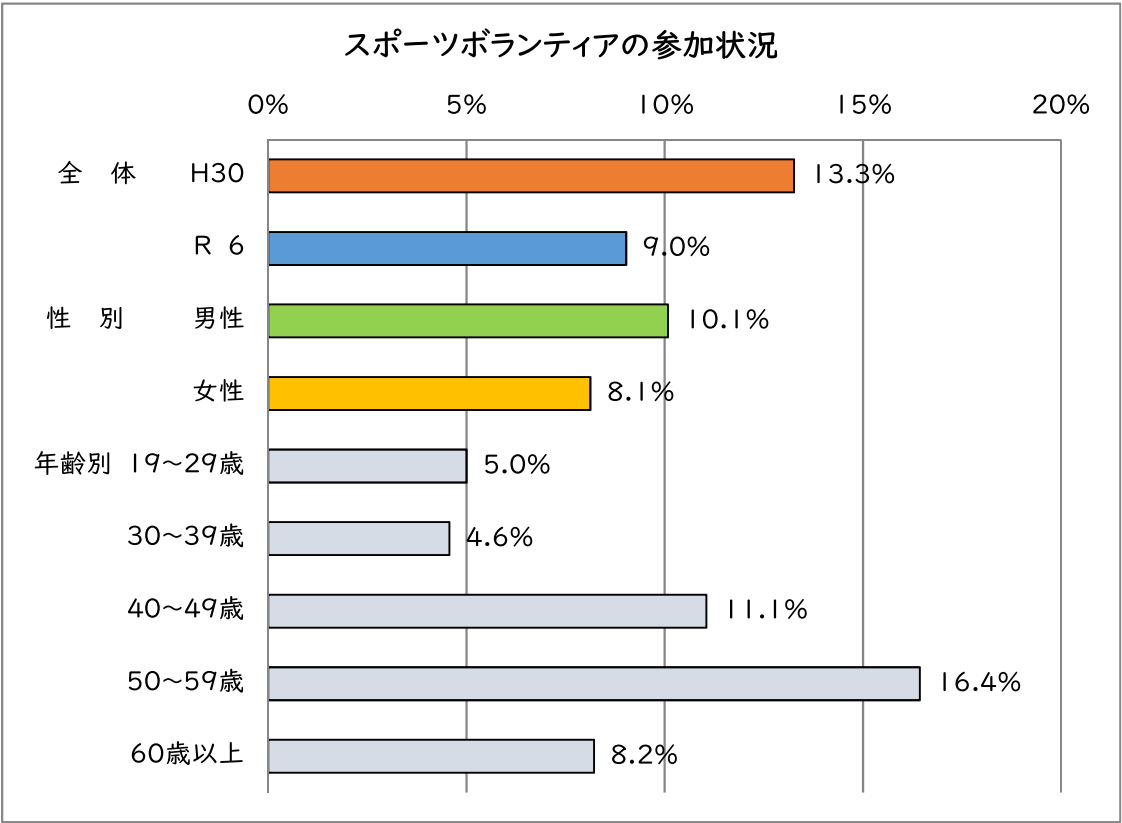
質問 40 スポーツに関するボランティア活動に参加したことがありますか。

質問 41 今後、スポーツに関するボランティア活動に参加したいと思いますか。

スポーツに関するボランティア活動に参加したことが「ある」の割合は、前回より減少しています。

また、性別では、男性の方が高く、年齢別では50～59歳が高いという結果でした。

一方で、参加状況が一番低かったのが30～39歳という結果でした。



※回答者数(グラフ「スポーツボランティアの参加状況」「スポーツ団体の認知度」「障がい者スポーツの関心度」)

全体 …全回答者数 H30 1033 名 R6 886 名

性別 …男性回答者数 357 名 女性回答者数 517 名

年齢別…19～29歳回答者数 120 名

30～39歳回答者数 197 名

40～49歳回答者数 190 名

50～59歳回答者数 146 名

60歳以上回答者数 219 名

4. 本市のスポーツ団体等の認知度について

全ての質問で、前回を下回る結果となった。

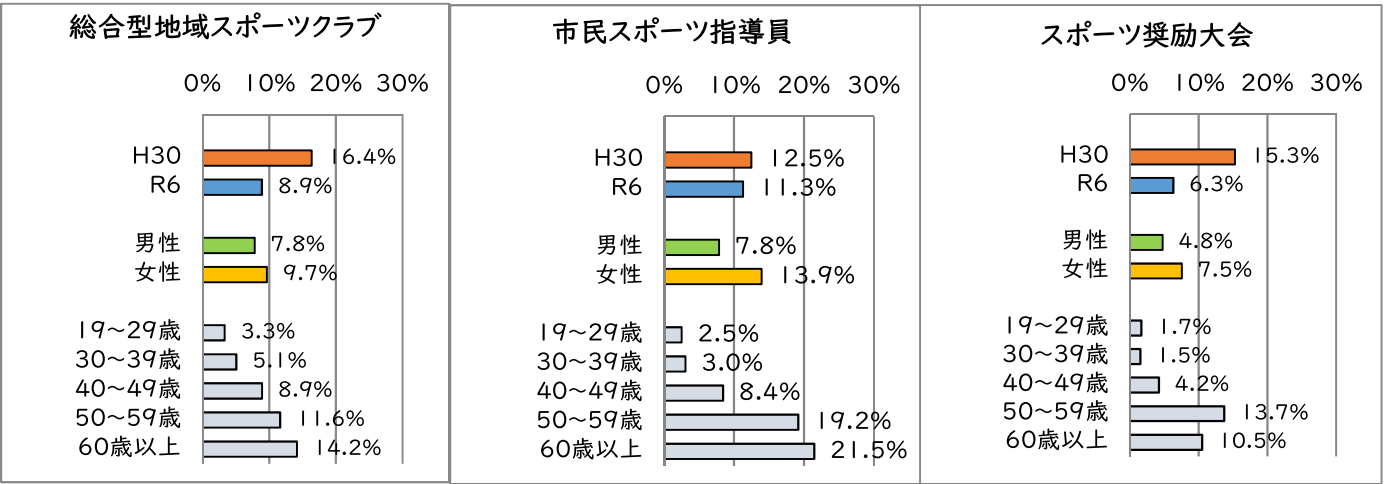
質問 42 市内で活動している「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。

質問 44 習志野市独自の制度である「市民スポーツ指導員」を知っていますか。

質問 45 市民の健康増進・体力の保持、また、地域コミュニティの振興などを目的に、毎年開催されている「スポーツ奨励大会」を知っていますか。

上記3つの内容の質問については、前回と比較し全て下回るという結果でした。今後は、さらなる広報等に努める必要があると考えられます。また、性別では、3質問とも女性が高いという結果でした。年齢別でも、3質問とも50歳以上が高いという結果でした。一方で、19～29歳、30～39歳の若年層の認知度が低いという結果でした。

スポーツ団体の認知度



5. 「障がい者スポーツ」について

障がい者スポーツに関心がない人が、ある人を上回る。

質問 48 障がい者スポーツ(パラスポーツ)に関心がありますか。

障がい者スポーツに関心があると答えた人は、全体では32.1%という結果で、前回を下回りました。また、性別では、女性の方が関心が高く、年齢別では、60歳以上の関心が高いという結果でした。

